　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2013.7.14

　　　　　　　　　6組旅行会旅日記　石巻・秋保編

１　日時：7月2日（火）～3日（水）1泊2日

２　参加者（敬称略）：木鋪・木村（剛）・神原・篠田・関・高水・野上・福田

　　　　　　　　　　　桧垣・織田　以上10名

３　旅行概要：

　（１）6月21日（金）18：30～20：00　浅草のホテル魚眠荘にて、結団式を開催しました。

　　　　緊急招集にも拘らず、10名全員出席。近所のお蕎麦屋の自称そば打ち名人の10割そばを

　　　　堪能。その後、神谷バーで二次会の予定でしたが満席の為、雷門近くのお店で打ち上げ。

　（２）7/2（火）東京発7：16（はやて101号）仙台着8：57

　　　　今回は、切符を各自購入にしたためか、新幹線内の酒盛りなし。各自こじんまりとビール・

　　　　お酒を少々。大変お行儀の良い皆さんでした。仙台到着後、高速バスにて石巻に移動。

　　　　仙台発9：17　石巻着10：50　その後、TAXIの90分コースにて市内見学。

　　　　最初に石巻漁港に行きました。この地区だけで1800人ほど亡くなられた由。至る所に震災の爪痕が残されており、港近くに仮倉庫・仮加工場が、震災前の20～30％位出来てる程度。

　　　　運転手さん曰く「政治家は沢山来たけど、評論家ばかりだ。具体的には何もしてくれない」

　　　　そうした政治家（政治屋？）を選んだのも我々。さて今度の参議院選挙はどうしましょう？

　　　　その後、石巻漁港と市内を一望できる日和山公園に移動。この公園は春は桜で有名です。

右の写真の橋のたもとの白いドームの屋根が、宮城県登米郡出身の漫画家石ノ森章太郎の「まんが館」です。写真中央の中の瀬には震災前にはびっしり建物があったそうです。

次に、幹事お勧めの「白謙（しらけん）かまぼこ店」にてお土産を購入。少々値は張りますが、ここの蒲鉾は絶品です。石巻に行かれる機会がありましたら、是非お立ち寄りを！

　　　　その後、宝来寿司にてランチタイム。10名で貸切状態、元の店舗は津波で流されたので、

今の店舗は仮住まい。よくぞ挫けず頑張っていると上野の団員が感心しきり。予約していた採り立てのウニ、とろ、まぐろ等々続々登場。お酒も宮城産の「浦霞禅」はじめ地酒を堪能。

大変おいしゅうございました。帰りには、お店の人達と記念撮影。大満足のランチでした。

さて、次は仙台に戻り、送迎バスで秋保温泉に向います。

石巻駅前に戻り、石巻発14：40の高速バスに乗車、仙台着16：05　仙台駅にてホテルの

送迎バスに乗り換え、秋保温泉　ホテルニュー水戸屋に向いました。ホテル着16：50

各自、部屋にて小休止し、ホテル自慢の露天風呂へ。桧風呂・陶器風呂・露天岩風呂・満月

風呂等、3か所で16趣の湯めぐりが出来ます。なかなかのものでした。

18：30から、いよいよお楽しみの宴会タイムです。

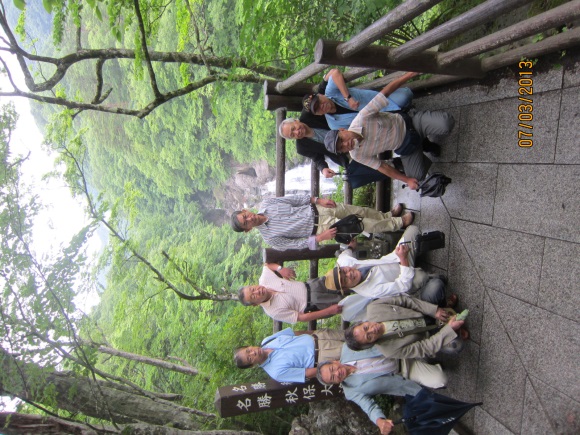
全員、和気藹々の実に楽しい宴会タイムでした。コンパニオンは全員若手、ホテルからは

話上手が良いか、若手がよいか聞かれましたが、当然若手で正解。大変盛り上がり、2名を

部屋にお持ち帰りしました。部屋での写真は、ご本人の了解がないため割愛します。

　（３）7/3（水）朝食後、ホテルフロントに9：00集合。路線バスにて秋保大滝に移動しました。

　　　　　秋保、里センター発9：22　秋保大滝着9：42

　　　　先ず、全員で「復興祈願」のお参りをしました。秋保神社の本堂の横を抜けると3分程で

　　　　大滝の見晴台に到着。まずまずの景観でした。この近くの横道に秋保大滝の表示板があった

　　　　ので、行ってみましたが、眺めは見晴台で十分。約15分程の健脚コースでした。誰も文句を言わず、協力してくれました。お疲れ様でした。その後、再び路線バスで里センターに

戻り（秋保大滝発10：28　里センター着10：48）、送迎バスで仙台市内に戻りました。

　　　　そして、ランチ会を仙台一番町の「利久サンモール一番町店」で実施。この店は一昨年の

　　　　旅行会でも利用した店で、牛タンと牛シチューの美味しいお店です。またまた写真を撮るのを忘れてしまいました。皆さんも仙台に行く機会がありましたら、訪ねてみて下さい。

　　　　今回も、皆さんがお土産を大量購入してくれたので、店長が大喜びでした。

早めにランチが終わったので（14：00）その場で自由解散としました。

その後、幹事は近くの元会社の事務所に顔をだし、仙台発15：26（はやて36号）で帰京。

何人かは1便早い新幹線の方もおられましたが、全員無事帰宅致しました。

これにて、今年の6組旅行会の終了です。例年のことですが、気の置けない仲間との旅は

実に楽しいものです。元気で一緒に旅が出来ることを心から喜びたいと思います。

また、来年もより多くの皆様と旅行が楽しめるよう念願しております。それでは、また。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　文責：織田　和男